



第⑦回は「東京都文京区 護国寺」です

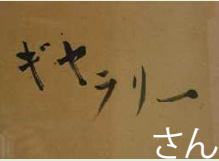
護国寺の創建は天和元年2月(1681)、五代將軍徳川綱吉公が、その生母、桂昌院(けいしょういん)の発願により、上野国(群馬県)碓氷八幡宮の別当、大聖護国寺の亮賢(りょうけん)僧正を招き開山とし、幕府所属の高田薬園の地を賜い、堂宇(どうう)を建立し、桂昌院念持仏の天然琥珀如意輪観世音菩薩像を本尊とし、号を神齡山悉地院(しんれいざんしつちいん)護国寺と称し、寺領三百石を賜ったことにより、翌2年、堂宇は完成した。明治16年、大正15年と火災で堂宇の多くを失ったが、観音堂は元禄以来の姿を変えず、また、近江三井寺より移築された月光殿(重文)は桃山期の建築美を今に伝えている。その他、薬師堂、大師堂、多宝塔、忠霊堂や創建当時のものと伝えられる仁王門、惣門。そして中門と多くの堂宇が保存、または再建されている。また、元禄文化の粋を集めた書画・什物の他、国宝、重要文化財等の数多くが寺宝とされている。震災、戦災と二度の大災害に襲われた東京の都心でありながら、江戸の面影を今に伝える当寺の姿は、訪れる人々の心のふれあいの場として、昔も今も変わらなく親しまれている。



観音堂(本堂)



裏千家十三世 円能斎宗匠石碑 「和敬清寂」※①



(題字・三輪休和)

96号

2017年10月発行



茶室 不味軒と圓城庵

明治から昭和にかけての実業家・高橋篤庵は、益田鈍翁、原三溪らとともに数寄者として活躍した。篤庵は護国寺を茶道の総本山にしようと考え、松平不昧公の分墓・園城寺日光院客殿の移築、茶室の整備などを行い、茶道復興に尽力した。鈍翁により始まる茶会「大師会」は、三溪園、畠山美術館、護国寺と会場を移しながら、昭和49年より根津美術館に引き継がれ、毎年春に開催されている。月窓軒、月光殿、不昧軒、圓成庵、他篤庵の名前を取った「篤庵」などの茶室では、年間を通じて頻繁に茶会が開かれ東京で大寄せの茶会が開催できるのは護国寺をおいてないといわれている。

高橋篤庵そあんと護国寺

- 護国寺HPより -

四規(しき)「和敬清寂」※① 茶道の心得「四規七則」裏千家HPキッズページより この4つの文字の中には、すべてのお茶の心がこめられているといわれています。「和(わ)」とは、お互いに心を開いて仲良くすることです。「敬(けい)」とは、尊敬(そんけい)の敬で、お互いに敬(うやま)いあうという意味です。「清(せい)」とは、清(きよ)らかさという意味ですが、目に見えるだけの清らかさではなく、心の中も清らかであるということです。「寂(じゃく)」とは、どんなときにも動じない心です。お茶を飲むとき、お点前をするとき、また、お客様になったとき、お招きしたときなどに、この「和敬清寂」ということを思い出し、おけいこに励みましょう。

七則 茶は服のよきように、炭は湯の沸くように、夏は涼しく冬は暖かに、(しこそく) 花は野にあるように、刻限は早めに、降らずとも雨の用意、相容に心せよ。

積應一行 和敬清寂 ¥32,000



ギャラリー森田 【華乃会】ご案内

当社ではお客様と共に より身近な茶道の楽しみを 図るため友の会を発足する 運びとなりました 多彩な特典とサービスを お楽しみいただきたく ご案内申し上げます

10月号 季節のお買得商品 ☎ 0598-21-3178

| | | | |
|---|--|---|--|
| <p>山川敦司 粟田焼紅葉流水茶碗 ¥26,800 → ¥18,700</p> | <p>吉休窯 石路茶碗 ¥14,000 → ¥9,800</p> | <p>浅見与し三 紅葉茶碗 ¥20,600 → ¥14,000</p> | <p>山川敦司 吹寄茶碗 ¥15,000 → ¥10,500</p> |
| <p>与し三 ひさご細水指 ¥28,100 → ¥19,000</p> | <p>高橋楽斎 信楽雁絵水指 ¥41,000 → ¥28,700</p> | <p>戸上明道 “菊の香” ¥14,500 → ¥10,000</p> | <p>染付葡萄細水指 ¥56,600 → ¥39,000</p> |



小紫 photo by S,A

.. 編集の窓 ..
日本原産でムラサキシキブ属の落葉低木。初夏に根元に近い方から先端に向かい開花し、秋にはそれを追うように紫色のきれいな実をつけていく。実は緑色から紫色に変わる。ムラサキシキブはこの実の清楚な美しさを源氏物語の作者で平安美女の「紫式部」にたとえたが、コムラサキは「紫式部」キブを小さくしたものなのでこの名前になった。紫式部よりやや低くても実も小さく枝に沿ってかたまるようにつける園芸的には紫式部の名で流通することもあるが実のつきかたで紫式部より人気が高くこちらの方が多く見かける

ご案内 当店では、皆様にお抹茶を楽しんで頂けるようお待ちしております。近くにお越しの際は気軽に遊びにいらして下さい(女性スタッフより)

お客様のご要望に応じて社員が定期的に三重県内にお伺いさせていただきます。何なりとお申し付け下さいませ。

小紫 コムラサキ(実)

ギャラリー森田ホームページ
http://www.gallery-morita.co.jp/
gallery morita スタッフぶろぐ
http://ameblo.jp/gallerymorita/
facebook ■ご不要になりましたお道具などご覧ください! どうぞお売り下さい。

月刊「ギャラリーさん」編集プロジェクト

ハローウィン蓋置 ¥5,800 販売中
ジャック・オランタン蓋置